

<随想>

元気さの秘訣

どこのクラブでもそうですが、会員の平均年齢が毎年上がり、高齢化の波で、例会に出席する人の数が少なくなり、作品数も減ってきて会の存続そのものが危うくなってきたという話をよく聞きます。このOMCも高齢化は避けられませんが、今のところ例会出席者も出品数もまずまずで、特に発表会ができなくなるという懸念もなく有難く思っています。特に80歳を過ぎた方で、元気に旅に出かけ祭りや古城など撮って作品を持参される方が何人かおられます。そのバイタリティには脱帽のほかありませんが、元気さのもととは、題材を求めインターネットや観光協会等で資料を集め、積極的に旅に出、場合によっては泊りがけで行って撮影し、帰宅後、構想を練り、パソコンを操って作品にまとめる、どんなBGMが良いか選曲する等、頭を使う。こうした体と頭を常に活性化されておられますが、年齢より若く活動されている秘訣ではないかと考えられます。そして例会や2時会で同じ趣味仲間と交流し楽しいひとときを過ごす、考えてみれば映像を趣味とする私たちは、ボケ知らずの幸せ人間かも知れません。

撮影に絶好の秋、皆さん外へ出て何か一作つくってみませんか。何を撮ろうかなあ、どう纏めるかなあ、考えるのも頭の体操、とにかく体の動く間は元気で映像を楽しみ、仲間とたのしくやってみましょう。

会長 合原一夫

■前田茂夫作品「余部は、今」が東京アマチュア映像祭全国コンに入選

前田さんの余部シリーズの一つで、「余部は、今」が上記全国コンに入選されました。おめでとうございます。

コンテストに出して賞に入るということは、大変自信のつくきっかけになります。全国コンに限らず地方のコンテストでも機会があったら応募されては如何でしょうか。

10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜 26日午後6時より、いつもの難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催。季節もよし、皆さんと共に楽しいひとときを過ごしましょう。作品の方もよろしく。

■予告①：11月例会は、第4土曜が祭日で夜の貸室はありませんので、13時からの昼間の例会となります。

■予告②：12月例会は、第4土曜は年末で休館なので、第3土曜21日になります。なお、当日は13時より幹事会、15時より世話役会を、18時から例会を開催します。

■予告③：1月例会は第3日曜午後1時よりの開催となります。例会後、総会を行います。終わって17時頃より新年会を5階のスーパードライ難波を予定しています。

映像祭へ行きませんか

■京都アマチュア映像祭：10月26日(土) 12時30分開催、13時開演、ひと・まち交流館にて。あいにく当クラブの例会日と重なりますが、午後の上映会なので途中まで見て大阪へ引返してもよいかと思います。できるだけ行って京都の人の作品も見てみましょう。

■堺・撮れとれ映像祭：10月27日(日) 開場12時30分開演13時、堺市民会館小ホール。

■メルアド変更のお知らせ

新アドレス：smaeda@ares.eonet.ne.jp
前田茂夫、訂正方よろしくお願ひします。毎月例会ニュースをメールでも配信していますが、戻ってくる方が若干おられます。メルアドを変更されている方は新アドレスをご連絡いただくか、送信不要方はその旨をお知らせ下さい。名簿から削除します。名簿は11月に配布します。

9月例会レポート

大変猛暑であった今夏も台風20号以降はやっと秋らしさを取戻したようです。これからはカメラを廻しやすい季節です。

今月の司会は急遽交替して関氏、書記、前田氏、上映係、井上、河合の両氏、録画、江村氏、受付兼照明係は宮崎。華岡の両氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、上総、紙本、河合、合原、進藤、関、高瀬、西村、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、の20氏と作品11本。

■上映作品(今月の講評は前田世話役です)

1. バガン遺跡 (BD)

有村 博

10分41秒

7月例会で発表された「絆で帰郷」の続編といえる作品です。会員4名でミャンマーを旅された内の1本です。バガン遺跡はアンコールワット、ボロブドゥールとともに世界三大仏教遺跡だそうです。広大な土地に大小様々な3000以上の仏塔があり、外観は素晴らしいものであります。しかしバガン遺跡は世界遺産登録を拒否されたそうで、その理由は内部に入った映像でよく解りました。どの仏像も殆ど黄金色に塗り直され、800～1000年も昔に造営されたという感じがしません。なんでも軍事政権が無秩序に改修を行ったためだそうです。何とももったいないことをしたという印象です。作品は丁寧にナレーションで解説されていたのでよく理解できました。BGMにはビルマの豎琴が流れ雰囲気合っていたように思います。それにしても黄金色が好きな国民だと驚きました。

2. おはな踊り (BD)

紙本 勝

10分30秒

昔滋賀の湖東に”おはな”という大変美しい娘がいました。しかし不治の病を患い龍神様に病を直してくれたら結婚しないと約束をした。そのせいあってか病は治ったが、龍神との約束を反古にし結婚してしまいました。ある夜竜神が現れ、お前の髪を切って池に沈めれば村人が日照りで困ったときは助けようと言いました。おはなはその言いつけを守りましたが命が絶えてしまいました。この悲しい伝説が基になって村人はおはな堂を建て雨請いのおはな踊りが生まれました。観光客もカメラマンも居ない村人だけの素朴な祭りです。いつも作者は歴史物かこのような民話物を素材にされて作品を作られます。作者の博識と取材力に敬服しています。夜のおはな踊りの照明が水銀燈で発色が緑色になり、その修正にRGBエフェクトをかけて苦労されたのですが、発色が不自然になったのは本当に惜しまれます。水銀燈の発色は残念ながらエフェクトでは補正できないと思います。

3. 昼も夜も (BD)

河合源七郎

12分45秒

能登半島各地のキリコ祭りを5年以上精

力的に追いかけておられる作品の一つです。能登を大別すると七尾から和倉辺りを中能登、穴水から北を奥能登というそうです。中能登ではキリコと云わずに奉燈と、奥能登ではキリコと云われるそうです。この作品は七尾市石崎での作品ですので、奉燈と呼ばれるキリコを担ぎます。タイトルにあるとおり、夜も昼も只々奉燈を担ぎ練りあるく祭りです。キリコのように松明を灯したり花火を打ち上げたりしないので、変化に乏しく迫りに欠けます。しかし大きくて重たい奉燈を凡そ 100 人で担ぐ様子は迫力があります。只々歩くだけの奉燈練り歩きを迫力ある映像に撮っておられるのはさすがに手馴れたとはいえ上手な腕前だと感心しました。ナレーションを多用しているのでよく判っているのですが、映像で見て判る情景描写は少しナレを省いた方が映像に集中出来る様に思います。

4. 湖北の冬鳥 (BD)

江村一郎

6分40秒

湖北野鳥センター周辺で冬の水鳥を撮られた作品です。叙情的なシネポエム映像に仕上がっています。大変貴重な大ワシが出てきますが、なかなか動かないようで撮影に苦労するそうです。これまでのよさこい作品や鉄道作品と違って不慣れなせいか切り口が甘いのと、ラストシーンと BGM とをピッタリ合わせるようにとの司会のコメントがありました。見終わって厳しい寒さの中での詩情あふれるポエム調のいい作品でした。

5. 京阪特急3000系最後の日 (BD)

前田茂夫

8分40秒

今年の3月末で惜しまれながら引退した京阪電鉄特急電車旧 3000 系の最後の日の様子を撮って来ました。旧 3000 系特急は 1971 (S46) 年に登場し前面が丸みを帯びたスタイルと明るいエンジ色、明るい黄色で彩られておりテレビカーとして有名。新型の特急 8000 系と比べて人気がありました。その車両が引退することによって沿線には多くの鉄道ファンが集まりカメラを向けていました。その最終日の状況の中ノ島駅で撮りました。この日は子供連れや多くのファンが別れを惜しみました。引退後は富山地方鉄道で活躍しているそうです。

6. あつあつの箕面 (BD)

進藤信男

14分35秒

第 28 回みのおまつりパレードの記録作品です。「で愛、ふれ愛、笑顔をつくるみんなのまつり」がテーマだそうです。大型バイクのハーレーから始まって各種団体やグループが 40 も登場する一大パレードです。作者がお世話をするシルバー人材センターから、ある特定の個人の顔をアップで撮らないで欲しい、全員を洩れなく撮って欲しいとの依頼があったとか。この作品は広く浅く全体をワイドで撮られています。依頼主の意向もあり致し方ない撮影・編集だと思います。依頼主に渡すのは 20 ~ 30 分以上の大作を例会には 10 分程度のアップ多用版を 2 本作ることでしょう。「花と行列」を撮るのは難しい、ナレーションが SE ノイズに負けているとの司会のコメントでした。

7. イチャンカラ (BD)

華岡 汪

13分35秒

中央アジアの国、ウズベキスタン・ヒヴァの町のイチャンカラへの紀行作品です。オアシスの町ヒヴァにはイチャンカラという内城とテシャンカラという外城の二重城壁で囲まれています。イチャンカラ内の建造物はいずれも歴史を感じさせる貴重なもので、古城、モスク、城門等々目を奪われる世界遺産です。建物内部はモザイク模様の美しいタイルで装飾され素晴らしいものです。馴染みの少ない中央アジアの世界遺産を堪能しました。ナレーションで詳しく説明されよくわかりますが、最後にこの旅の感想を語ってくれたらもっといい紀行作品になったと思います。

8. 清水寺青龍会 (BD)

宮崎紀代子

9分48秒

清水寺で行われるこの宗教行事はあまり知られていないようですが、以前に別の会員さんが初めて持参されなかなか素晴らしい行事であることを知りました。なんでも平成 12 年に門前会とお寺さんとで始めたそうで新しい法会です。観音様の化身である青龍が雄叫びを上げ寺の正門を下ってくる様子は迫力があります。人々に幸せを運ぶ夜叉神が鉢功德水を授け、夜叉神を先頭に 18m もの大きな青龍が続きます。三年坂

で折り返しますが、この間の青龍の描写は非常に上手く撮られています。やがて青龍一行は清水舞台の上で最後に練りますが、そのあとに続く階段を下るシーンは不要でまた始まるのかと錯覚します。清水寺全景で END にすればいかがでしょうか。

見終わって京都のお寺らしい雰囲気を出しているいい作品でした。

9. 楽しいシュポッポ (BD)

森口吉正 10分20秒

あるビデオグループの撮影会作品と云って持参されました。初めて梅小路蒸気機関車館にいかれたそうですが、押さえるべきポイントはしっかり撮って居られます。かつて 10 年程前に行った経験からすると、撮影可能な場所が制限されているようです。以前は山陰線下の S カーブを真正面からとれたのですが、それも撮影できなさそうです。SL の説明や状況はよく撮られています。SL を見上げる子供顔のアップ、楽しそうな表情などをもっと撮って挟み込んだらタイトルにふさわしい作品になったと思います。蒸機を吹き出す汽笛のアップ、動き出す動輪のアップがあればよかったです。本線を走る SL 撮影ではこのようなアップカットは撮りにくいのですが梅小路では何度でも撮れますのでまた機会があったら挑戦してみてください。1 月 4 日は全車両が車庫から頭を出して日の丸を付けて展示されます。

10. パゴダは雨の中 (BD)

山本正夢 7分00秒

この作品も会員 4 名でミャンマーに行って撮ってこられた作品です。今回は大雨の中でパゴダ周辺を詩情豊かに撮られています。雨の中ではカメラを廻さない人が多いのですが、作者は大雨の中での情景を見事に表現されています。人々が素足で頭に荷をのせて歩く様子は、現地の音楽らしい BGM との相乗効果で詩的な情感を感じさせてくれます。チャイテイヨという場所のゴールデンロックは大きな黄金色の岩が落ちそうで落さない不思議な情景でお寺の一角にあり、大岩の上には仏塔があって、仏陀の頭髪が納められそれが岩を支えていると言われているそうです。雨の夜はライトに照らされて妖しく光り秘的な光景です。山

本さんの手にかかる雨もこんなに美しいものかと再認識させられます。

11. 嵯峨の送り火 (BD)

高瀬辰雄 8分50秒

京都北の大覚寺に伝わる送り火の法会を撮った記録作品です。トップシーンは大沢池に蓮の花が一面に咲く情景と大覚寺遠望は素晴らしい情景です。京都のお盆は五山の送り火で精霊を送りますが、帰りそこねてこの世に残る精霊もいます。そこで弘法の教えにしたがい冥界に送り届けるのが 8 月 20 日の嵯峨の送り火 宵弘法だそうです。

昼には大沢池に船を出し精霊流しの準備を行い、夜になると灯籠に火が灯され誠に厳粛な雰囲気になるります。池の水面に映る灯籠の数々素晴らしい情景です。池の一角に設えられた栈橋に大勢の僧侶が参集し静かに精霊を送る読経が始まります。かがり火が僧侶たちを赤く照らし読経に励む姿とかがり火、水面に映る灯籠、水面に写る僧侶の倒像、蓮の花などの短いカットが雰囲気を盛り上げていきます。

法会を営んでいる最中は僧侶以外に登場しないので、地元の善男善女が般若心経でも唱えるアップが数カットあれば、より宵弘法の雰囲気が醸し出されたのではなからうかと思いました。しかしなかなかの力作で大変素晴らしい作品でした。

■自宅サーバー廃止のお知らせ

10 年前から自宅にサーバーを置いて動画を、また一部の会員さんの動画も配信してきました。10 年も経つと PC ハードが故障して動かなくなりました。10 年前は EyeVio や YouTube などの動画専門の公開サーバがなく、自宅サーバーで配信する以外に道はありませんでした。しかし今は YouTube が簡単に使えて自宅サーバーを設置する意義はなくなりました。また自宅サーバーを立てるには固定 IP アドレスを借りる必要があり、年間 54000 円もかかっていたので、年金生活になったこともあり撤退することにしました。長らくのご支援をありがとうございました。